

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分  
 【発行日】平成27年2月12日 (2015.2.12)

【公表番号】特表2013-545610(P2013-545610A)  
 【公表日】平成25年12月26日 (2013.12.26)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-069  
 【出願番号】特願2013-543969(P2013-543969)  
 【国際特許分類】

**B 0 1 D 29/50 (2006.01)**

**B 0 1 D 46/00 (2006.01)**

【F I】

B 0 1 D 29/24 Z

B 0 1 D 46/00 F

【手続補正書】  
 【提出日】平成26年12月15日 (2014.12.15)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

原流体供給用主管路（22）と濾過流体回収用主管路（24）の間に取り付けるための濾過アセンブリ（30）において、前記濾過アセンブリ（30）が、前記原流体供給用主管路（22）と前記濾過流体回収用主管路（24）と流体連通するように構成された共通のマニホールド（66）から同軸的に半径方向に延びる2つのフィルタユニットを含み、前記フィルタユニットの各々が、平行に配置された複数のフィルタ部材（34）を含むことを特徴とする濾過アセンブリ。

【請求項 2】

原流体供給用主管路（22）と濾過流体回収用主管路（24）を含み、それらの間に配置された少なくとも1つの請求項1に記載の濾過アセンブリ（30）を有する群列状濾過装置（20）。

【請求項 3】

請求項2に記載の群列状濾過装置（20）において、前記原流体供給用主管路（22）と前記濾過流体回収用主管路（24）の間に延びる少なくとも1つの濾過流路を含み、少なくとも1つの濾過流路の各々が1の濾過アセンブリ（30）で構成され、前記共通のマニホールド（66）が前記濾過流路上に構成されることを特徴とする群列状濾過装置。

【請求項 4】

請求項2または3に記載の群列状濾過装置（20）において、前記原流体供給用主管路（22）と前記濾過流体回収用主管路（24）が相互に実質的に平行に延びるとともに、実質的に垂直な平面を画定し、前記平行に配置された複数のフィルタ部材（34）は、前記マニホールド（66）を前記原流体供給用主管路（22）に流体連通する入口チャンバ（82）と、前記濾過流体回収用主管路（24）に流体連通する出口チャンバ（88）とに分割する継手板（96）から延びており、各フィルタ部材（34）が、その濾材の片側が前記入口チャンバ（82）と前記出口チャンバ（88）の一方と流体連通し、前記濾材の他の側は前記入口チャンバ（82）と前記出口チャンバ（88）の別の方と流体連通することを特徴とする群列状濾過装置。

【請求項 5】

請求項 2 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の群列状濾過装置 (20) において、前記濾過アセンブリ (30) には前記マニホールド (66) が収容され、これは前記原流体供給用主管路 (22) と前記濾過流体回収用主管路 (24) のうちの一方に連結するための入口ポート (80) と、前記原流体供給用主管路 (22) と前記濾過流体回収用主管路 (24) のもう一方と連結するための出口ポート (86) を有するように構成され、前記入口ポート (80) は入口チャンバ (82) の中へと延び、前記出口ポート (86) は前記入口チャンバ (82) から仕切られた出口チャンバ (88) から延びることを特徴とする群列状濾過装置。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の群列状濾過装置 (20) において、前記継手板 (96) は、前記マニホールドの前記入口チャンバ (82) が各継手板 (96) のうち前記フィルタ部材 (34) の前記濾材の片側と流体連通する 1 つの側と流体連通し、前記マニホールド (66) の前記出口チャンバ (88) が前記継手板 (96) のうちそれぞれの前記フィルタ部材 (34) の前記濾材の別の側と流体連通する別の側と流体連通するように、前記マニホールド (66) 内に着脱可能に固定されることを特徴とする群列状濾過装置。

【請求項 7】

請求項 3 および 4 に記載の群列状濾過装置 (20) において、前記フィルタユニットが同軸のカプセル状格納シェル (68, 70) として構成され、各フィルタユニットは、第一の向きに配置された複数のフィルタ部材 (34) と、反対の向きに設置された複数のフィルタ部材 (34) を収容するが、すべてのフィルタユニットの縦軸 (B) が相互に平行で、濾過流路の縦軸と交差するように延び、1 つの濾過アセンブリ (30) の 2 つの継手板 (96) が同軸的に、相互に対面して、ただし反対に延びることを特徴とする群列状濾過装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の群列状濾過装置 (20) において、前記カプセル状格納シェル (68, 70) が、前記マニホールド (66) に着脱可能に取り付けられ、それらの間で継手板 (96) が相互連結しており、それによって、前記格納シェル (68, 70) を取り外すと、前記継手板 (96) と、そこに関着されている関着濾過部材 (34) が露出することを特徴とする群列状濾過装置。

【請求項 9】

請求項 2 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の群列状濾過装置 (20) において、前記マニホールド (66) の縦軸 (T) が、前記原流体供給用主管路 (22) と前記濾過流体回収用主管路 (24) によって画定される平面内に延び、前記原流体供給用主管路 (22) と前記濾過流体回収用主管路 (24) の縦軸 (X) と交差することを特徴とする群列状濾過装置。

【請求項 10】

請求項 2 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の群列状濾過装置 (20) において、前記群列状濾過装置 (20) の前記濾過アセンブリ (30) は、前記フィルタユニットの縦軸 (B) が、前記原流体供給用主管路 (22) と前記濾過流体回収用主管路 (24) によって画定されそれらの間に延びる平面に垂直に延びるように配置されることを特徴とする群列状濾過装置。

【請求項 11】

請求項 2 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の群列状濾過装置 (20) において、2 つの隣接する濾過アセンブリ (30) 間の距離が、フィルタユニットの軸の長さより短いことを特徴とする群列状濾過装置。

【請求項 12】

少なくとも請求項 3 に記載の群列状濾過装置 (20) において、前記濾過流路が、前記原流体供給用主管路 (22) と前記濾過流路の前記マニホールド (66) の間に延びる、排出管路との少なくとも 1 つの継手を有するように構成されることを特徴とする群列状濾過装置。